

北海道優良品種 ホライズン (チモシー早生品種)

ホライズンの特性と利用方法

◇出穂始

出穂始はノサップより2日程度早い早生品種です。

◇収量性

1番草はノサップ並みに多収、2番草はノサップより極多収です。

◇再生力

2番草の再生力が優れており、夏季の生育が旺盛なアルファルファとの混播に適しております。また、経年化に伴って地下茎イネ科草が侵入し、次第にこれらが優占していきませんが、これら雑草との競合にも強いことが当社の試験において確認されております。

◇耐倒伏性

ノサップよりも耐倒伏性が優れます。倒伏した牧草を利用すると高水分のサイレージとなるため、発酵品質が低下しやすくなります。耐倒伏性に優れる「ホライズン」を利用し、サイレージの発酵品質・嗜好性を向上させましょう。

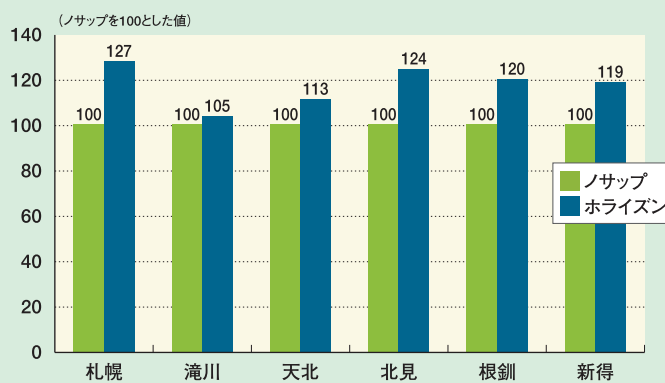


図. 2番草乾物収量 (播種2-3年目の合計)

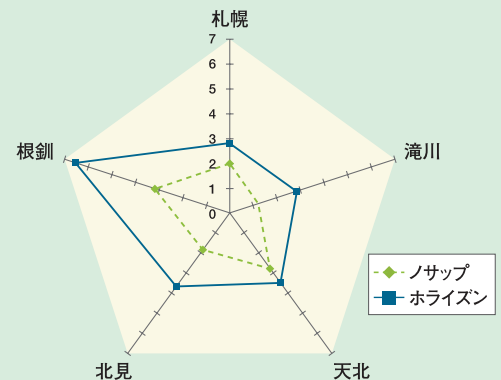


図. 2番草の出穂程度 (無:1-9:極多)

北海道優良品種 シリウス (チモシー晩生品種)

シリウスの特性と利用方法

◇出穂始

出穂始はホクシュウとほぼ同じ晩生品種です。

◇草型

草型はホクシュウよりも直立型で採草利用に最適です。遠隔地で遅刈りとなる草地、乾草栽培草地での利用に最適です。

◇収量性

1番草収量が多収です。反面、再生力が緩慢であるため、2番草はやや低収になります。混播相手は競合力が穏やかな小葉型シロクロバ「リベンデル」が最適です。

◇利用場面

シリウスは晩生品種であることから、2番草以降の出穂茎が少なく、葉部割合が高いのが特徴です。また、短草条件で密度が高まる傾向にあることから、兼用や放牧利用にも適しております。放牧利用した場合の季節生産性は、ホクシュウとほぼ同程度であることが当社の試験において確認されております。

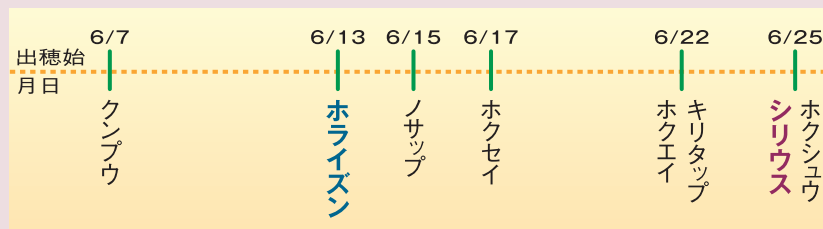


図. 出穂始めの全道平均 (道内6試験場、`00-`01年の平均値)
注) ホクセイ、ホクエイは推定値